



5・3憲法集会 65000人に感動！！

平和といのちと人権を！ 許すな！安倍改憲発議！ と題して、東京臨海広域防災公園で『5・3憲法集会』が行われました。

この日、九条の会・いすみ市では大原駅前で、3000万署名の活動を行いました。私は東京の全国集会へ……防災公園駅を降りると、人・人・人の波。会場まで途切れることなく続いていました。

6万5千人もの人が、改憲はいや！！ということで集まったのです。

安倍首相による改憲策動が、平和・民主主義・基本的人権など現行憲法の原則を守ろうとする国民の世論と真っ向から対決する中でこの集会は行われました。集会では多くの著名人や学者、さまざまな立場の市民がスピーチしました。

2～3紹介したいと思います。

1. こともあろうに、自分の任期中の改憲に固執し続けている。政権与党の最高責任者が憲法尊重擁護義務違反であり、立憲主義を破壊するものであることに強く抗議する。

2. 人間が人間を殺すことを恥じないといけない。9条は理屈を超えて『日本の宝』です。そして『世界の宝』でもあります。9条は変えなければ自衛隊を書き込む というインチキを許してはいけません。

3. 憲法に自衛隊を明記しても『何も変わらない』と繰り返し強調しますが『自衛隊明記』の改憲は、自衛隊は『戦力』としての自衛隊になります。

護衛艦『いずも』の空母化、F35ステルス戦闘機の配備などは、これまで政府が9条2項に基づき主張してきた『専守防衛』や『必要最小限度の自衛力』では説明できません。こうした実態を説明できるようにし『戦力』化する自衛隊にあわせて無制限の行使可能にするのが改憲の真の狙いです。

最後に変えなければならないのは憲法ではなく、憲法をないがしろにし、国民の権利と民主主義を蹂躪する安倍政治である、と多くの人が声をあげていました。

そして、改憲勢力をそぎ落とす選挙をしなければならないと誓いました。

天气に恵まれ、『ちから』をもらった集会でした。

前田

3000万署名ひとりでも多く広めましょう。

改めて署名用紙をお渡しします。 九条の会・いすみ市

会員よりご意見を寄せて頂きました

『若い世代に繋ぐためにも』

3年ほど前のこと、20代の若者との話の中で「ええっ！」と叫んだことがあった。彼らから社民党や共産党は保守、自民党は革新という認識を示されたからである。憲法を「変えない」姿勢や、資本家と労働者という「古い社会構造」とらわれる姿勢からだという。若者の右傾化というフレーズをよく聞かすが、それは右か左かという単純な選択にはなっていないような気がしてならない。いつの時代も若者には変革を求める傾向があるはずだ。だとすると、憲法を9条を守ることは単に守ること＝保守ではなく、平等と平和に基づく新しい共生の社会を創ろうとする革新であることを示すことが重要であろう。

今、若い世代で、田舎暮らしやオーガニックをキーワードにした持続可能な社会を模索する動きが出てきている。また、原発の再稼働に反対するが憲法を変えることには前向きだという。私たちは今、若い世代の人たちに、護憲と反原発と持続可能な社会づくりが繋がって見えるような活動を模索していかなければならないのだろう。

手塚 さん

“平和への思い”

私は父の仕事が外務省警察官であった関係上、満洲で1931年に生まれました。その後、天津、済南など中国の北支を転々とし、盧溝橋の付近にも住んでいたことがあります。最後は北京の外城から終戦後一年を経て日本に引き揚げてきました。

母はその時の疲労で日本に着くなり寝込むこととなり、間もなく亡くなってしまいました。

父は帰国後、「もう警察官はやらないよ。」と言い、魚の行商をしながら私たち6人の子供を一人で育ててくれました。17才になった私は、小さなお母さんと近所の人達に呼ばれ、家事をしながら女学校へ通う日々でした。そのような折、戦争に反対し投獄されていた方々が開放され、街頭や公民館で戦争、軍国主義に反対し、平和の尊さについて訴える言葉を聞きました。私は戦時中、獄中に居ながらも考えを貫いた人達がいたことを知り、彼ら彼女らと一緒に平和を守る活動をし、生きていきたいと強く思いました。その時から70年が経った今、17才の若かった自分が下した決断が正しかったことを誇りに思っています。

あらためて、平和は“命”と同じくかけがいのないものであり、今後も全てを出しきって守ってゆく思いです。

服部 さん

五月一六日(木曜日)午前七時長生村を三四人が公民館のバスで出発。晴天でした。(参加者は近隣の九条の会からも)

二時間半ほどで国会議員面会所に到着。当初は衆議院憲法審査会の傍聴予定でしたが、参議院厚生労働委員会に変更。国会傍聴は、手荷物禁止と身体チェック。(鉛筆とメモ用紙は要求さればくれる。)初めての委員会傍聴でしたが全体が良く見渡せて、傍聴しやすかった。自民党の議員の質問時間でしたが、つい最近まで女性の囚人は手錠をかけたままの出生、生まれると直ぐに子どもと切り離されたことの問題を指摘。最近までのひどい状態に唖然。予定上中途退席。

参加者は国会見学コースと議員面会コースに分かれる。私の参加グループは、中谷元(自民)山花郁夫(立憲)井出庸生(社保)の三人に面会。といっても全員が秘書でした。中谷さんの秘書は、中谷さんは戦争反対で、専守防衛であるとの立場を強調していました。私は専守防衛概念を広げていると言いい、参加者それぞれが意見を表明。署名用紙は受け取らないが皆さんの来られたことは伝えるとのこと。他のお二方には署名を託し、激励と要請をしました。(他のグループ辻本清美(立憲)照屋寛徳(社民)森英介(自民)赤嶺政賢(共産)志位和夫(共産)本人に会えたのは赤嶺議員のみ)一堂に会して、状況報告と交流をする。

帰りは上野公園内、時忘れじの塔(東京大空襲・関東大震災)を訪ねました。

皆さんも来年は参加予定されてはいかがでしょう。

「武器見本市」が開かれ抗議行動に参加して

阪倉芳枝・川島る美

武器は戦争の道具。これを売買して儲ける人と企業、武器商人たち。国家がそれを買ひ、加担して戦争は繰り返し行われている。その武器の威力を誇り売り込むのが武器見本市だ。

憲法九条のある日本、この千葉県幕張メッセ大ホールに於いて六月一七日から一九日に武器見本市が開かれた。

ママの会ちばの方々が中心になり、十七日の大抗議行動には千葉県内外から市民230人がメッセ会場前に集まり、フラワーチエーン、コール(日本語と英語の、ダイ・イン(死亡した状態を模倣する)、等の斬新な抗議の方法で反対の意思を示しました。戦争を起させないよう声をあげ続けよう。

学習会

12月までの予定

7月27日(土)
8月24日(土) (朗読と戦争を語る会)
9月21日(土) 10月26日(土)
11月1日(金) 2日(土) 3日(日) (文化祭)
11月23日(土) 12月21日(土)
大原文化センター AM10:00~12:00
資料代・200円

ご案内

今年の歴史散歩は大原の野仏めぐり

ゆっくりと歩いてみると、
大原にはたくさんの野仏があります。
道端の道祖神、お地藏様、
仏教と平和主義について考える

ひとときをご一緒に...

- *日時 10月13日(日)
AM10:00
(大原文化センター駐車場集合)
PM2:00頃 解散予定
- *参加費 200円 (資料代)
- *お弁当・飲み物 (途中コンビニ休憩
有り購入出来ます)
- *帽子・雨具各自持参、歩きやすい靴

- *署名活動は毎月継続実施
- *憲法記念日大原駅前
3000万署名
5名参加16筆
- *全国憲法集会5・3
(前田参加)
- *いすみ市大原文化団体協
議会総会5・29
(前田出席)
- *国会見学・議員面会
5・16 (近藤参加)
- *武器見本市反対集会
6・17
(阪倉・川島参加)
- *大原駅前6・18
3000万署名
7名参加39筆

活動
etc.

3000万
署名
現在の総計
1199筆

憲法記念日大原駅前 3000万署名活動



ほっとタイム



「風は気まぐれ、コントロールできるものではない」国会解散をこのような軽い調子で表現した首相。日米関係において多額の税金を拠出、軍事予算は大幅増額され、木更津ではオスプレイが、幕張では武器見本市が... 私たちの暮らす千葉県でもどんどん軍靴が響いています。強い風に吹かれて散歩もできない時代はごめんです